

5月11日(土)

午後2時~4時

講師：川・街道から見たまち研究所 代表 笹倉 信行氏

場所：小竹図書館 2階会議室

対象：一般(中学生以上)

定員：30名(事前申込制)

申込：電話またはカウンターにて

☎ 5995-1121

川・用水・街道から見た
江戸・東京そして練馬

東京には多くの中小の河川が流れ、それらが作り出した地形が清水や谷、窪、堀といった地名として残っています。人工的に作られた上水や用水も、網の目状に縦横に広がっていました。また、地上では、律令制時代の官道から始まり、その後の鎌倉街道や江戸時代に整備されたいくつもの街道が、現代の道路としてつながっています。この講座は、川・用水・街道を通して、江戸・東京の発展を見ようというものです。豊富な湧水に恵まれたため早くから開け、中世豊島家一族の興亡とも重なる石神井川をはじめ、白子川など、区内の川を中心に、人々の暮らしや水との関わりを紹介します。

講師紹介：笹倉 信行氏

1971年東京大学法学部卒。日本電信電話公社入社、金沢支店長、NTT西日本取締役名古屋支店長を経て、NTTテルウェル東日本社長、NTTタウンページ社長を歴任。2013年の退任後は、川・街道から見たまち研究所代表。現在、NPOエンジョイ・シニアライフ「DANの会」や金沢まち博で講師を務める。日経新聞、読売新聞、雑誌でも数多く紹介されている。著書に『金沢用水散歩』（十月社）。

三宝寺池



武蔵関公園 富士見池



三宝寺池



石神井川